

◆行田さくらロータリークラブ週報

◆国際ロータリー第 2570 地区ガバナー地区行動指針

Unite For Good～よいことのために手を取りあおう～を合言葉に「クラブ活性化」を実現していきましょう！

ガバナー 坂口孝

◆会長メッセージ

よいことのために手を取りあおうを踏まえ創立 50 周年を契機として、行田さくらロータリークラブが地域と共に歩み続けることを進めましょう。

創立 50 周年記念テーマ「ロータリーで未来を拓く」

みんなで手を取りあうクラブへ

会長 宮本伸子

会長 - 宮本伸子

副会長 - 阿部秀二郎

幹事 - 松岡由浩

事務局 - 埼玉県行田市 5-10 スリー
ハートビル 3F

電話 - 048(564)3000

例会日時 - 火曜日 12:30~13:30

例会場 - 行田商工センター2 階ホ
ール

電話 - 048(553)0510



よいことのために
手を取りあおう

第 2397 回(10 月 7 日)例会報告

- ・点鐘
- ・ロータリーソング 奉仕の理想
- ・4つのテスト
- ・会長報告 宮本 伸子 会長
- ・幹事報告 松岡 由浩 幹事
- ・結婚祝
駒見行彦会員 大滝龍一会員 松岡由浩幹事
川野健人会員
- ・誕生祝
大滝龍一会員 松岡由浩幹事
- ・出席報告 田中里美 委員
52 48 30 0 62%
- ・ニコニコ 松田久 委員長
- ・ロータリーの友読みどころ紹介 大滝龍一委員
- ・本日の卓話
社期奉仕委員会 山際満委員長
令和の米騒動を考える
- ・点鐘 宮本 伸子 会長



会長報告

宮本 伸子 会長

10 月は地域社会経済発展月間です。それにちなんで、本日は社会奉仕委員長の山際会員に、御専門であるお米の流通について、「令和の米騒動」と題して実際は何かあったのかというお話をお願いしました。

また地域社会の経済発展としては、地元の経済発展も重要ですが、世界を見れば多くの人々が日々の生活にも困っている状況があります。ロータリーのホームページによれば、約 8 億人、全世界人口の 9 人に一人が、1日に2ドル程度、つまり 200~300 円しか得られず、食べることと共に他の生活のこととか、病気の予防や病気になった時に治療を受けるために病院に行くことが出来なかったり、更に病院さえ近くなかったりすると言われていいます。そして、こういう人の 60%は女性であり、70%は農業系の職業で気象による影響も受けているとのこと。

今年度台湾の桃園南ロータリークラブとの協定を結ぶ

予定ですが、できればそのあとに手を携えていく国際奉仕事業としては、台湾内も日本の被災地などもありでしょうが、このような困っている地域の人々に、例えば職業に就くための機材であったり、職業訓練の機会であったりを届けるというのも良いのではないのでしょうか。

そして地域の経済発展としては、「ロータリー—の友」では造り酒屋のロータリアンの紹介がされていますが、こ行田で新しく仕事をしている方々のことなどについて、次回お話しできればと思っています。

それでは、山際さん、本日の卓話をよろしくお願いいたします。



幹事報告

松岡由浩 幹事

皆さんこんにちは

本日の例会は、日本食の要「お米」に関しまして、その流通現場の一線で活躍されている山際委員長の卓話となっております。どうぞ宜しくお願い致します。

それでは幹事報告をさせていただきます。

本日は理事会が開催されましたので、決議内容を抜粋してご報告致します。

早崎委員長が企画されたクリスマス望年会の件、飯塚常任委員長より上程され、可決承認となりました。

続いて、前回例会でも触れさせていただきましたが、江口会員退会の件、そして後任者にあたる高石一朗さん入会の件が高橋常任委員長より上程され、一週間の猶予期間を設け、その後何かなければ承認となります。また、10/21 の例会にご本人が出席予定となっておりますので、皆様宜しくお願い致します。

以上が審議事項で、報告事項も数点お知らせいたします。

9/6 ロータリー財団セミナーが国立女性会館にて開催され、宮本会長、駒見委員長が主席されました。

9/14 同じく地区事業の新会員研修セミナーが東松山市民文化センターにて開催され、宮本会長、高橋会員が出席致しました。

9/23 第5回米山記念奨学生スピーチコンテストが、アルカーサル迎賓館川越で行われ、宮本会長、田島カウンセラーが出席致しました。

9/27 RLI パート 1 が国立女性教育会館にて開催され、駒見会員、小澤会員が出席致しました。

9/28 米山梅吉記念館研修会が行われ、宮本会長、田島カウンセラー、米山奨学生チャンさんが出席されました。

10/2 行田ロータリークラブ例会へのメイキャップ、10/6 地区大会記念チャリティーゴルフコンペへの参加により、7月のガバナー公式訪問例会が正式に100%例会となりましたことをご報告いたします。

最後に、今後の例会・炉辺に関するご案内となります。

11/1 シティウォーク例会ですが、出欠は従来の案内状による出欠確認でなく、11月のプログラム案内の出欠が最終確認となります。本日理事会にて可決承認されましたので、明日には発信出来ると思われます。ご対応の程宜しくお願い致します。

10/23 創立 50 周年記念コンペの炉辺となります。参加対象は、創立 50 周年記念事業実行委員会・記念ゴルフコンペ部会です。会場は那のつさんとなりますので、ご予約お願い致します。

10/30 創立 50 周年実行委員会・記念誌部会の炉辺となります。参加対象は、創立 50 周年記念事業実行委員会・記念誌部会です。会場は魚豊さんとなります。こちらでもご予約お願い致します。

以上、長くなりましたが幹事報告とさせていただきます。ありがとうございました。



結婚祝

大滝龍一会員 駒見行彦会員 川野健人会員

松岡由浩幹事



誕生祝

大滝龍一会員 松岡由浩幹事

ニコニコ報告

松田 久委員長

(宮本会長)

本日は、社会奉仕委員長の山際さんに、令和の米騒動についてのお話をお願いしました。今をときめく社会問題について実態はどうか、お話をよろしくお願いします。

※同文

田邊会員、渡辺会員、橋本恭一会員、田島会員、春日会員、川野会員、梁瀬会員、高橋貴子会員、長島会員、山際会員、早崎会員、飯塚会員、山岸会員、駒見会員、大滝会員、横川会員、田中里美会員、松田会員

(松岡幹事)

結婚祝い、誕生祝いありがとうございました。

山際会員の卓話楽しみにしてます。

(細井パストガバナー)

山際さん卓話よろしくお願いします。

(五十幡パストガバナー)

本日は山際会員の卓話、楽しみにしておりました。卓話、宜しくお願い致します。

(松本健一会員)

山際会員の卓話楽しみにしております。

(三島会員)

山際さんの話が今日はきけてとてもうれしいです。

(矢澤会員)

令和の米騒動、楽しみにしていました。

(神田会員)

夜間例会とかん違いしておくれました。

(新井会員)

社会奉仕委員会山際委員長、本日は卓話楽しみにしてお

りました。ほんとうの話をしてください。よろしくお願いします。

(阿部会員)

山際さん、本日は米騒動の裏話を沢山聞かせて下さい。特に米価の高止まりのカラクリを教えてください。



ロータリーの友読みどころ紹介

大滝委員

初めてロータリーの友の紹介をします。

表紙について：マリーゴールドの花が鮮やかです。熊本のローターアクトクラブの会員の絵で、展覧会にも出されており、マリーゴールドの花言葉の「生きる」というのがあふれている絵だと感じました。

一献を紡いでについて：まさに酒の一献や飲食を共にして、人と人とのつながりを紡ぐという記事で、全国のロータリアンの蔵元も紹介されています。

大阪・関西万博テーマウィークについて：ロータリアンらしい活動が紹介されています。

シウマイの街 鹿沼：シウマイというと横浜だと思いがちですが、実は鹿沼にルーツを持つということを知りました。裏表紙について：線のチカラというタイトルで、最近のコンピュータでなんでもする時代において、手で描くことの意義を問いかけられました。



社会奉仕委員長 山際満委員長 卓話

～令和の米騒動を考える

そもそもコメの値段とはどのように決まるのかというお話から、実は米が足りなくなりそうだというのは令和 5 年頃から予測され始めていて、その原因としては相変わらずの米の買取の制度に安住していたこと、減反政策を継続したこと、作況指数という時代に合わないと思われる見込み数に頼ったことなどが下地にあり、そこにインバウンドなどでの需要が増えたことなどが重なって市場に出る米が減ったということがあるそうです。また米は収穫されたものから、先に備蓄米分を取り、飼料米分を取りしてから一般の食用米となり、食用米も給食用とか大手飲食用などの固定需要に先に流れてから本当のスーパーや米穀店に行くので、そこで一般需要分が足りなくなったということのようです。

それで 4 月にいざ足りなくなるとなって備蓄米の直前の分を出したけれど買取が農協がほとんどで、これが流通手段が間に合わずに市場に流れなかったのです。それで大臣が交代して、急に間を飛ばして小売り段階への入札となったが、こちらも最初は流通がうまくいっていなかったというのが実態のようです。それで新米のとれる今になっても、備蓄米の放出分が売れ残っているのです。

今年の新米は、昨年、一昨年に比べればよいようです。ということで、現状は備蓄米側の方から売る傾向にあり、スーパーの平均価格は備蓄米と新米を平均しているので意味がないとのことでした。今、一次側の米倉庫には今年の新米がたくさん入庫していて、このままでいくと年明けくらいからはだんだんお米がだぶついてくる感じ。それに加えてさすがに政府も減反をやめる、作況指数に頼るのをやめると言っていて、少しずつ増産の方向になっていたりするので、全体的に米の量が不足感が無くなり、余っている状況になって値が下がる、一方で農家への買取価格の提示が上がってしまっているのです。そんなに急には下

がらないという両方があって、ある程度の価格に落ち着いてくるのではないのでしょうかということでした。

また、今回のようなことを繰り返さないためには、新米から食用米の方を先にとって、それから飼料米、備蓄米を取るようにする方が本来ではないかという、我々もすごく納得できることを改めてお話しいただきました。

謝辞:宮本会長

本日は、山際さんならではの、令和の米騒動の本当のところ、これからのお話など、とても勉強になったと思います。本当にありがとうございました。



点鐘